

⑥ 内陸産業拠点と臨海地域との連携を牽引する地区（和歌山県）

臨海部地域の物流拠点（港湾、関空等）を活用した内陸部地域活性化、物流の低炭素化を目的に、紀ノ川沿いの企業誘致、内陸部の道路ネットワーク、航路拡充などの活性化方策に取り組んでいる。

ア. 事業段階・計画段階の活性化方策

[事業中]

- ✓ 紀ノ川企業集積ベルト地帯構想の推進
- ✓ 京奈和自動車道の整備、府県間道路（和歌山・大阪間）の整備
- ✓ 内航フィーダーのトライアル（和歌山下津港－神戸港）
- ✓ 紀ノ川企業集積ベルト地帯構想の推進

[事業中・計画]

- ✓ 高速道路から和歌山下津港へのアクセス道路の整備

[計画]

- ✓ 新たな産業用地の整備

イ. 構想段階の活性化方策

[構想]

- ✓ 内航フィーダーの定着化の推進、外貿定期コンテナ航路の拡充の推進
- ✓ 物流効率化・グリーン物流の促進施策の検討
- ✓ 紀ノ川企業集積ベルト地帯構想の継続的な推進
- ✓ 和歌山下津港の広域的なポートセールスの展開

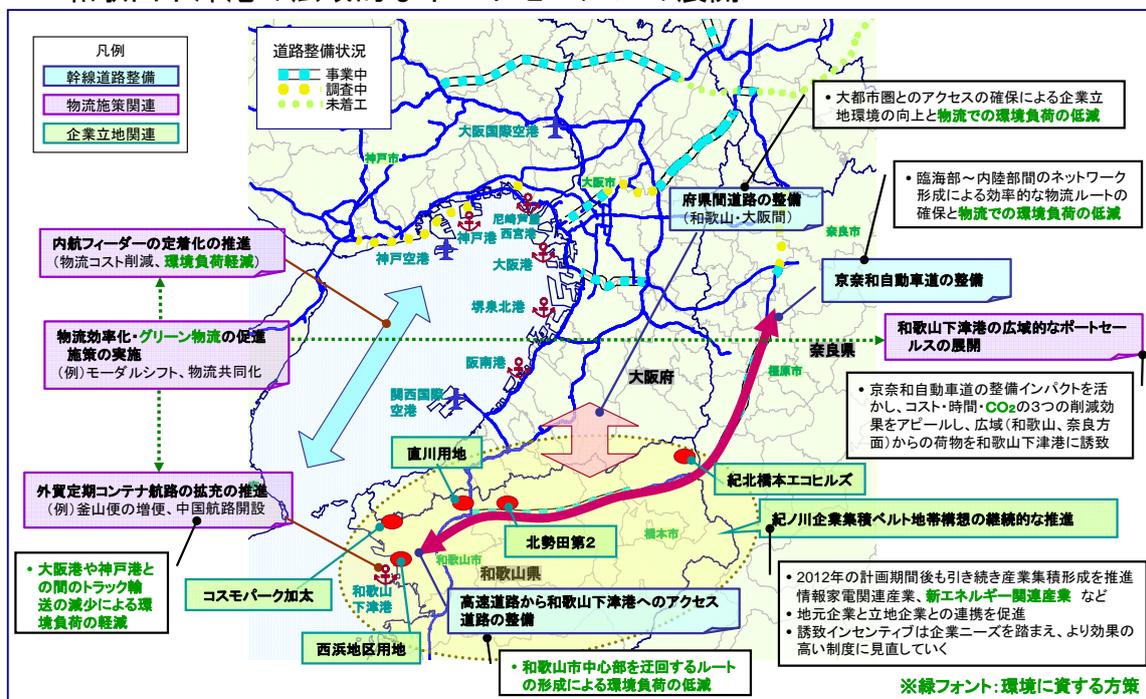


図3-8 内陸産業拠点と臨海地域との連携を牽引する地区（目指す姿）

(3) ケーススタディにおいて検討した活性化方策

以上のケーススタディにて検討した活性化方策について、「1. 土地需要・利用方策の検討」「2. 国際物流の効率化に向けた広域連携方策の検討」で検討した活性化方策との対応関係は、以下のように整理される。

	神戸市	兵庫県	大阪市	堺市	大阪府	和歌山県
土地需要・利用方策						
○ 低コストかつ低環境負荷型の用地供給		●				
○ 迅速な手続等による用地の供給			●			●
○ 大型立地を可能とする用地の確保	●		●		●	
○ 高機能付加価値型物流・産業拠点の形成		●	●		●	
○ 安全・安心な地域づくり				●		
物流拠点形成に向けた方策						
○ 関西国際空港の「国際貨物ハブ空港化」に向けた戦略の推進						
○ 阪神港スーパー中枢港湾の推進と大阪湾諸港のさらなる連携による物流コスト低減と高いサービスの実現	●		●			
○ 既存産業の物流の効率化			●	●		
○ 残されたミッシングリンクの解消	●					
○ 先導的・戦略的な温室効果ガス削減への取り組み						
立地誘導に向けた方策						
○ 企業立地の促進に向けた支援策の検討	●		●			●
○ 既存産業の再編・高度化に対する支援		●				
○ 既存産業、コンビニートを環境優位性を持つように構造改革するための、技術支援、財政支援				●		
○ 高水準な大学・研究機関、産業基盤の集積・拠点形成	●					
○ 先端分野、環境・エネルギー分野の研究・技術開発などに対する支援						
○ 世界的な太陽発電等の自然エネルギーの活用						
○ 魅力的な生活環境の形成	●			●		
港湾の広域連携に向けた方策						
○ 多層化による安全性の向上と地域間連携						
○ 輸送・交通利便性の向上に向けた施策推進	●					●
コンバージェンス(融合)の強化・促進方策						
○ 企業間連携の促進				●		
○ 産学官連携の促進				●		
○ 自治体間を越えた融合						
○ 国際交流拠点形成・国際的コンベンション誘致						
○ 情報発信力の強化				●		●
○ 臨海部と内陸部の連携	●					●

図3-9 ケーススタディにおいて検討した活性化方策

各ケーススタディにおいて検討した活性化方策のうち、主なものについて以下に整理する。

① 土地需要・利用方策

ア. 低コストかつ低環境負荷型の用地供給

尼崎埋立処分場では、「フェニックス早期土地利用検討協議会」において、利用にあたって制約的な側面を有する管理型区画も含め、土地利用の方向性について、検討を進める。

イ. 高機能付加価値型物流・産業拠点の形成

夢洲では、先行開発地区、将来開発地区それぞれについて、産業・物流拠点形成に向け、ハード・ソフト両面での取り組みを進め、大阪湾ベイエリアの活性化を牽引する拠点形成を目指す。

ウ. 大型立地を可能とする用地の供給

陸海空交通が交差する地点である大阪木材コンビナートでは、埋立事業の社会経済情勢の変化による土地需給ギャップや埋立事業の成立性などを課題としつつ、国際分業に対応した高付加価値産業や物流施設の立地など、新たな土地利用の可能性に向けた検討を進める。

② 立地誘導に向けた方策

ア. 既存産業、コンビナートを環境優位性を持つために構造改革するための支援

臨海部にコンビナートが集積する堺市では、環境に配慮した、低炭素型のこれまでにない新しい臨海拠点の形成に向けて、企業間連携による低炭素化への支援、低炭素化に資する産業活動を促進するための共同インフラの整備などを進める。

イ. 先端分野、環境・エネルギー分野の研究・技術開発などに対する支援

P I 二期埋立地では、先端医療技術の研究開発拠点を整備し、産学官連携により、医療関連産業の集積を図る「神戸医療産業都市構想」を推進するとともに、環境創造産業の立地促進に向けた取り組みを進める。

③ コンバージェンス（融合）の強化・促進方策

ア. 臨海部と内陸部の連携

和歌山県内陸部では、内陸産業拠点と臨海地域との間の高規格道路での連携、港湾におけるコンテナ航路拡充の推進など、物流の効率化・グリーン物流の仕組みの検討及び定着に向けた取り組みを進める。